

会 議 記 録

会 議 名 称	第 9 回杉並区社会教育委員の会議
日 時	令和 7 年 1 月 14 日（火）午後 3 時 03 分～午後 5 時 17 分
場 所	中棟 4 階 第 2 委員会室
出 席 者	委員 諸橋、宮内、檜枝、南、青木、天野、荻上、内山、笹井 区側 生涯学習担当部長、生涯学習推進課長、社会教育センター所長、 管理係長、社会教育推進担当係長（社会教育主事）、 社会教育センター社会教育推進担当係長（社会教育主事）、 社会教育センター社会教育主事
配 付 資 料	<配布資料> - 第 7 回社会教育委員の会議記録 - 小学生名寄自然体験交流事業現地交流報告及び学習成果発表会の実施について - 第 18 期のまとめに向けて <参考資料> - 杉並区教育ビジョン 2022 推進計画 - 郷土博物館展示「近衛家と細川家 着物が紡ぐ家族の記憶」チラシ - 炉辺閑話No.71 - とうきょうの地域教育～豊かな出会いと学びを～No.152、No.153 - 第 61 回東京都公民館研究大会チラシ - 大人と子ども、地域と学校をつなげる、地域発＜教育情報誌＞なみすく 2024 年冬号 - 一般社団法人全国社会教育委員連合「社教情報No.95」案内
会 議 次 第	I 報告事項 - 小学生名寄自然体験交流事業について - その他 II 協議事項 - 今期の検討課題「社会教育活動への支援のあり方について」について - 次回の日程について III その他
（意見要旨）	

- 議長 会議を始めます。部長からご挨拶をお願いします。
- 生涯学習担当部長 本年もよろしくお願いいたします。
- さて、昨年12月8日にオープンした荻外荘は、多くの方々に関心を持っていただき、全国区になってきた感じがしております。これからもできるだけ多くの方に社会教育施設を知って理解していただくことを大切に積み重ねていきたいと思っております。皆様にご議論いただいている社会教育活動の支援についても、区と教育委員会が具体的に社会教育の取組を進めていく上で、の要と考えています。本日も活発なご議論をよろしくお願いいたします。
- 議長 それでは小学生名寄自然体験交流事業について報告をお願いします。
- 管理係長 (資料説明)
- 議長 ありがとうございます。こういう機会はとても大事です。できるだけたくさんの子どもに行ってほしいと思います。
- 報告の中で博物館や動物園といった社会教育施設が出てきましたが、委員の皆さんの中で、施設に限らず社会教育に関わる話題などがありましたらご紹介いただけますか？
- 委員 今イギリスのオックスフォードに滞在しています。オープンなコミュニティとして教会の基盤の強さを感じています。文科省の資料によると、イギリスの生涯学習は成人教育とインフォーマルな学習と職業技能訓練の三つがありますが、公民館のようなオープンなクラスが見当たりません。インフォーマルな学習では、博物館が無料でアクセスできるのが強いと思います。
- 議長 それでは、検討課題について事務局からお願いします。
- 社会教育推進担当係長(社会教育主事) 資料をもとに説明
- 議長 今期のまとめとして、大きな論点としては「社会教育士等のネットワークを維持・発展するために」何をどうすればいいのか。そのときに、拠点施設として社会教育センターを考えなければいけない、それが一つ目の論点です。
- 2番目は「地域住民の自発的な活動は、社会教育施設を利用して広がるために」です。学校施設を社会教育活動で使おうとしても難しいケースが多いですが、住民が集まり活動するための場として、どのように作り直し展開していくのがいいのかということが2番目の論点です。
- 3番目として、「社会教育活動の相談支援体制を充実させるために」ということです。
- 本来、面白そう、やってみましょうと始まるのが社会教育活動です。かたちのないものがあるものにしていくところに、社会教育士という人が介在することで、うまく持っていけるのではないかと個人的には考えています。そういうことも念頭に置いていただき、自由闊達にご意見ください。
- 委員 社会教育は自発的な活動であるというのが根源的に大事なところだと思う一方で、学校教育側の課題に一定寄り添わないと変わらないと思います。例えば部活動の地域移行について、社会教育の側がその担い手をつなぎ、学校施設利用の可能性を広げるといふようなところは避けて通れない論点だと思います。
- 議長 学校施設を地域住民の利用に供する話は30年以上前から言われています。学校施設の利用決定権者は学校長にあるので、これを教育委員会に戻すことが必要だと思っています。
- 委員 学校教育をサポートできる人を掘り起こすような活動は、学校も受け

入れやすいのではないかと思います。長く続く事業や活動は内容を充実させるためにも縦のつながりをつくっていくことが大事だと言われますが、卒業生のつながりも同じで、同窓会を利用した学校施設の活用を考えてみると、いろいろな人のつながりが生まれるかもしれません。

- 委員 地域住民の一人として私も学校施設をもっと社会教育で使えるようになればいいと思っていました。小中学生と接する中で感じるのは、彼らは大人と接する機会が足りていないのではないかと思います。これが成長に大きな支障を来すのではないかと考えていて、夕方時間帯に、安全に大人と子どもが接するようなチャンスを学校という場を使ってできないかと思っています。

また、すぐに使える場所がなかったり、使うには団体登録が必要だったりするので、社会教育士のような人を介して、思いついた人たちが始められる仕組みができると生かされていくと考えました。

- 委員 具体的な課題を持っているとか既に何か動機付けされている人は、その場に出て来られる時点である程度生涯学習に取り組んでいると思います。もっと地域の社会教育を考えたときに、社会教育士のような方が火付け役となって、きっかけと人をつなぐことができたらと感じました。

- 委員 衰退する地域を見て地域おこしを身近な問題に感じる若者が地方には多くいると思いますが、東京は塾や習い事で忙しい子どもが多く、難しさを感じています。基本的な価値観がお金や効率、数値的な結果ばかり求めるような新自由主義的な価値観ではなくなると地域活動は苦しいでしょう。

- 委員 まさに人類はどうする？というところだと思います。一人ひとり知識や経験が違い、それは特別です。都会の人口は大きな力だと思うので、人の幸せや心の豊かさだけにフォーカスして新しいことをつくり出していく場づくりができればと思います。

また、人一人が学んだり経験してきた記憶や記録を残していくことも重要だと思います。歴史に出てくるのは政治や社会の動きしかなく、個人が生きてきた深い歴史をデジタルの時代だからこそ貯めていければ、私たちの歴史はもっと幅広く捉えられるように思いました。

- 委員 社会教育センターの相談窓口は知っている人しか行かない奥まったところにあるので、もっとオープンなところに出て行って定期的に人が集まれるようにするのが重要だと思います。その窓口社会教育士が立ち、自分の経験を話したり参加を促すような投げかけをするところから始められるといいのではないのでしょうか。

- 委員 誰でも目的なく来ることができて様々な人との出会いや会話があり、アドバイスをもらえる社会教育士のような人がいて、一緒に何かに取り組もうとする際は使いやすい場所があると活動へのハードルが取り払われるのかなと思いました。学校施設をそうやって使えと、子どもだけではなく地域住民のための施設に変わるきっかけとなるのではないかと思います。大人が議論して盛り上がっている姿を子どもたちが垣間見て、斜めの関係が自然発生的に実現すると思いました。

- 議長 クリエーションというのは、何をやってもいい空間と時間があることがとても大事だと思って聞いていました。「共創」とよく言われますけども、そういう場づくりというのが社会教育にとって大事だと思います。

- 委員 やはり職員が地域に出て行かなくてはならないと思います。講座をつ

くるにも、そこに深みを持たせるためには現場体験がとても大切です。

○委員 地域住民が自発的にやろうとしていることを手助けしてくれたり、その人と一緒になって取り組んでくれるお助けマン的な人がいて、それが社会教育士だったら、その姿が地域の中で見えるようになる、どういう人なのか分かるようになると思います。高齢化や人手不足に悩む団体の活性化に来てくれたら頼もしく捉えられていくと思います。

○委員 社会教育センターの相談窓口が屋台のように出て行き、その地域の人やりたいことや地域課題を話せるような場ができるとインパクトがあると思いました。

○議長 移動社会教育士ですね。人の輪の中に入っていくことが大事というのは、そのとおりだと思います。

行政はどうしても縦割りになりがちですが、杉並区のエデュケーションビジョンは学校教育と社会教育とに分かれておらず垣根が低いので、そうしたところをまともに反映してもいいと思います。

時間を過ぎましたのでご挨拶をお願いします。

○生涯学習推進課長 今日貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。拠点はありつつ出前型で展開しようというのは、科学の分野でも、博物館や社会教育センターの事業についても同じだと思います。表に出て行って、展開していくべきだと思っています。

17期のまとめに基づいて、社会教育士の有資格者を増やしたり、学びのワークショップやスキルアップ講座を開いたり、まとめが我々の方向性を位置づけるものとなりました。18期のまとめが出来上がったら、その方向性で今後は進んでいくことになります。

この間、有資格者の数を増やしたりワークショップなどの事業展開を図ってきましたが、これを続けていくだけでは進歩がないので、方向性をお示しいただけるようなまとめにしていいただければと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

○議長 今日の会議はこれで終わりにします。ありがとうございます。